

平成 28 年度事業報告書

平成 28 年 5 月 1 日 から平成 29 年 4 月 30 まで

特定非営利活動法人 Rainbow Children Japan

1 事業の成果

平成 28 年度は、奨学金支援事業で 66 名の奨学生へ支援を行った。

チベット学生 65 名については来期 100 名（2017 年夏）を予定しており、2017 年 3 月訪問時にチベット亡命政府のロブサン・センゲ首相より感謝の盾の贈呈を受けた。この盾が日本に贈られるのは初めてのことであり、大変名誉な出来事であった。設立当初より目標としてきた 100 名をしっかりと達成したいと考える。

また、スラムにおいて 1 名の奨学生が大学院で MBA を学ぶこととなった。その学生は提携するインド現地の NGO でスラムの学校の責任者を務める若者であるが、彼の影響力を最大化することによってスラムでの教育支援を推し進めたい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
奨学金支援事業	インドにおいてチベット難民およびスラムの子どもたちに対して、2016 年度大学進学・進級のための奨学金支援を実施。	支援実行 2016.10 訪問 2016.10 2017.3	インド (ダラム サラ・デ リー)	10 名	チベット奨学生 65 名 スラム奨学生 1 名	4599
奨学金支援事業	インドにおける高額紙幣廃止を受け、日本国内でルピー募金を行い、インドで 3 つの支援先へ寄付を実施。	支援実行 2016.12 募集期間 2016.11.9 ~12.4	日本国内、インド (ダラム サラ・デ リー)	244 名	チベット難民の生徒 100 名、火災に遭ったラール・キラー市場関係者 100 名、スラムの生徒 55 名	2657
奨学金支援事業	NPO サービスグラントより助成を受け、寄付管理、業務フロー設計をプロボノワーカーへ依頼。また、新規ビジネスモデルの提案を受けた。	2016.7~ 2017.3	日本国内	プロボノワーカー 6 名、サービスグラント 2 名	団体および今後の団体運営に関わることより、将来の受益者すべて	3034

<u>その他この法人の目的を達成するために必要な事業</u>	ネパール地震復興支援で、全壊したチベット絨毯工場へ手織りラグの注文を行い（H27年度）その代金を寄付として支払い完了。	2016.6~7	ネパール、カトマンズ、ジャワラケルチベット難民キャンプ	10名	被災した工場で働く50名の女性たち	161
<u>その他この法人の目的を達成するために必要な事業</u>	教育団体 Edu×らぼに対し、年2回のインドでの奨学生ミーティングの設計・運営を委託。	2016.10	インド（ダラムサラ、デリー）	2名 高谷代表（高校教師） 立山さん（阪大大学院生）	団体および今後の団体運営に関わることより、将来の受益者すべて	121

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額（千円）
<u>物品販売事業</u>	チベタンジュエリー等チベットの伝統文 化工芸品をネットを通じて広く販売する。 収益を奨学金事業、スラム支援、ネパール 支援に充てる。	通年	インター ネット	2名程度	231